

## **R&A 新型コロナウイルス感染拡大のための活動制限の下での UK のゴルフ(参考)**

R&A は様々な団体と政府が現在の制限措置の解除を始めても安全を保てると決定した際に、UK 内でゴルフをどのようにプレーするのかに関するガイダンスを作成する作業をしてきました。

このガイドダンス主に 5 つの項目を扱っています：コースセットアップ、ラウンドの前、ラウンド中、ラウンド後、そしてゴルフ規則に関する問題です。このガイダンスは政府への具申の一部であり、変更することがあります。

このガイダンスはこの困難な状況下で UK 内でどのようにスポーツを再開できるのかについて現在考える上での透明性と明確さを与えるものです。

すべての今後の更新はこのホームページに掲載され、R&A の SNS を通じて共有されるでしょう。

### **活動制限下の UK 内でゴルフをプレーすること**

UK のゴルフ産業は政府による活動制限が緩和された際にゴルフ施設の安全な管理を確実にする方法を慎重に考えてきました。そして詳細な業界のガイドラインがすべてのスタッフ(グリーンキーパー、クラブプロ、ゴルフ施設の管理者、運営者、コース、すべてのゴルファー)の利益のために発行されました。

多くの異なったタイプのゴルフクラブ、ゴルフ施設があり、「安全なゴルフ」の手続きはそれぞれに応じて作成され、導入される必要があります。しかしながら、スポーツとしての基本的な部分は同じですし、規則と手続きに関しては一致しています。これらの手続きには、ラウンドの直前に駐車場に到着してからラウンドを終了してすぐに帰るまでのゴルフの行動のすべての側面を含むでしょう。ゴルファーは始終ソーシャルディスタンスの規則に従うことが要求されます。ゴルフ規則に関連するいくつかの臨時的な規定も安全なプレーを確保するためには必要となるでしょう(以下参照)。

各クラブ/施設が政府の制限を遵守するために各々の手続きを適応させることが必要となる中で、ゴルフの行動について 5 つのカテゴリーに区分した以下の側面を考慮する必要があります。

- a. コースセットアップ
- b. ラウンド前
- c. ラウンド中
- d. ラウンド後
- e. ゴルフ規則に関する問題

## a. コースセットアップ

必要最低限のメンテナンスに関する最新のガイダンスについては「Covid-19 感染拡大中のゴルフコースのための必要最低限のメンテナンスの声明」の最新のバージョンをご参照下さい。

- コース上のアイテム
  - ◻ すべてのレーキ、球回収用具を撤去する。
  - ◻ ボールウォッシャーや冷水器にカバーをかける。
  - ◻ ベンチ、ゴミ箱の撤去、またはカバーをかける、またはそれらに触れないように看板を立てる。
  - ◻ その他動かせるものはすべて撤去する。ただし、動かさない障害物として扱うことができるコースエリアを定める杭を除く。
- **ホールと旗竿**
  - ◻ 旗竿はそのままにしておくことができるが、触れてはいけないことを示す標示を付けておくことを強く勧める。
  - ◻ 使用するホールライナーのインサート方法は球全体がパッティンググリーン面以下に落ちず、球以外に触れることなく、簡単に球を回収することができる方法にする。
- **練習エリア**
  - ◻ 安全で衛生的な処置が保障されない限りは、練習エリア(練習ネットを含む)は閉鎖する。

## b. ラウンドの前

- **予約**
  - ◻ クラブ、施設はスタッフやゴルファーの安全を確保した予約システムやティータイムの割り当方法を作ること。
  - ◻ ティータイムごとの 1 組の最大人数はクラブ、施設によって確認され、政府の要求に従ったものでなければならない。
  - ◻ ティータイムは 10 分間隔にすること。クラブ、施設によってはそれ以上の間隔が適切である場合もあるだろう。
- **来場、プレーまでの待機**

- クラブハウスとロッカールームを閉鎖する。トイレの使用などの最低限の使用をクラブや施設が許可することはできる。
- クラブ、施設は、クラブに来場した際にソーシャルディスタンスの規定が適用されていることを前もってゴルファーに知らせるために連絡をとること。例えば、ティータイムの前の一定時間まで車から出ないことなど。
- クラブ、施設は、ティータイム前に、プロショップやスタート小屋でソーシャルディスタンスの規定を順守できる手続きを定める。
- 安全で衛生的な処置が保障されない限り、レンタル用のトロリー、カート、その他の用具を貸し出さない。
- クラブ、施設は練習パッティンググリーンについての措置を講ずる。例えば、ティーオフする次の組のプレーヤーに優先的に使わせるなど。

#### c. ラウンド中

ラウンド中にプレーヤー同士が少なくとも 2m は離れていることを確実にするためのガイドダンスや注意事項をクラブ、施設が規定すべきです。

- ティーイングエリア
  - ティーショットをプレーするときには通常プレーヤー達は近接しているのでティイングエリアでは 2メートル以上間隔を保つようゴルファーに注意する。
- ジェネラルエリア
  - 球の所に向かっていているとき、球捜しをするとき、プレーするときは 2m 以上の間隔を保つようゴルファーに注意する。
  - 遺棄されている球に触れないようプレーヤーに注意する。
- バンカー
  - コース上にレーキを置いていない場合、ゴルファーにクラブや足を使って最大限の努力で砂をならすよう注意する。
- パッティンググリーン
  - パッティンググリーン上で 2m の間隔を保ち旗竿には触れないようゴルファーに注意する。

#### d. ラウンド後

ラウンド中と同様にラウンド後もソーシャルディスタンスが重要であり、ラウンドが終わったらクラブハウス周辺でたむろしないですぐに、コース、クラブ、施設から帰らなければならないことをゴルファーに注意する。

#### e. ゴルフ規則に関連する問題

新たなお知らせがあるまで、次の規定は臨時的なものとして容認されたものとみなします。

##### • プレーの形式とスコアリング

- ◻ ゴルフのプレーを再開してしばらくの間は競技ではないプレーをすることが勧められる。そして、異なった組でプレーヤー達が関連するストロークプレー競技を避けることが勧められる。
- ◻ 競技でのストロークプレーをする場合、スコアリングの方法はスコアカードをまったく扱わない、あるいは交換しない方法を使用する。
- ◻ 委員会は厳密には規則 3.3b に従わない、または規則 3.3b に基づいて使用する通常の方法に従わずにストロークプレーでのスコアリング方法を認めることができる。例えば：
  - ・ プレーヤー自身がスコアカードを記入する(マーカーが記入する必要はない)。
  - ・ マーカーがプレーヤーのホールのスコアが物理的に確認する必要はないが、口頭などの方法で確認をするべきである。
  - ・ 委員会が別の方法でスコアを受理できるのであれば物理的にスコアカードを委員会に提出する必要はない。
- ◻ ゴルフ規則に規定されている通り、スコアカードを電子的なものとするができる。例えば、スコアを委員会にメールやテキストする。

##### • バンカー

- ◻ ゴルファーがバンカーをしっかりと均しているのであれば、バンカーに関するローカルルールを規定する必要はない。しかし、レーキをなくすことによってゲームの楽しみに大きな影響を与えると委員会が考える場合、バンカー内でのプリファードライを採用し、プレーヤーが元の箇所からホールに近づかずに 1 クラブレンジス以内のバンカー内に球をプレースすることができることを規定することができる。

##### • 旗竿

- ◻ ゴルファーは常に旗竿をホールの中に立てたままにしておかなければならず、または触れてはならない。このことをローカルルールで規定するのか、行動規範で規定するのか、そしてそれらに違反したことに対して罰を規定するのかどうかについては委員会の決定事項である。
- ◻ 臨時的な措置として、プレーヤーの安全の目的のために用具の規則の 8 項の仕様に適合しない旗竿を使用することができる。

- **ホールとホールに入る**

- ◻ ホールライナー(ホールカップとも言う)は球全体がパッティンググリーン面より下に入らないような方法でセットし、球の一部でもパッティンググリーン面より下にあればホールに入ったものとみなす。
- ◻ ホールから球を拾い上げる必要性を最小限にするために、委員会はホールから 12 インチ以内(一般的なパターグリップの長さより少し長い)の球は次のストロークでホールに入ったものとするを規定することができる。この規定はマッチプレーでこの長さの外にある球に対してコンシードすることを妨げるものではない。
- ◻ 委員会は、ホールライナーをパッティンググリーン面より上に設置させ、そのライナーに球が当たった場合はホールに入ったことにする、と決めることができる。

注：上記の措置のどれかを使用したスコアがハンディキャップの目的として受け入れられるかどうかについては関連するハンディキャップの機関に相談すること。